

おきなわユニバーサルツーリズム推進にかかる取組状況調査

ユニバーサルツーリズムとは、高齢や障がい等の有無にかかわらず、すべての人が安心して楽しめる旅行を指します。沖縄県では、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進し、「世界から選ばれる持続可能な観光地」としての受入環境整備に取組んでいます。

多種多様なニーズに応じた受入れ環境の整備や取組について、現状把握のため、本調査へのご協力をお願いいたします。

※本調査で得た情報は、ユニバーサルツーリズム推進の目的以外には使用しません。

Web からでもご回答いただけます→
(回答：約5分)



調査元：沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課
調査委託先：(株)オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社

事業者情報

事業者名 (団体名)				
所在地 (住所)				
業種	<input type="checkbox"/> 宿泊施設	<input type="checkbox"/> 交通事業	<input type="checkbox"/> 体験 (アクティビティ)	<input type="checkbox"/> その他 具体的に：
担当者名			役職 (または業務内容)	例) 代表、経営、キッチンなど
電話番号			メールアドレス	

1. ユニバーサルツーリズムの基本的な取組状況

Q1-1 年齢や性別、障がいの有無などに関わらず誰もが気兼ねなく参加できる観光を指すユニバーサルツーリズムについて、何らかの取組を行っていますか？(1つだけ☑)

- 1. 積極的に取組を行っている
- 2. 取組を行っている
- 3. 今後取組を行う予定である
- 4. 取組を実施していないが必要性を感じている ⇒Q1-4へ(裏面)
- 5. 取組を実施していない(消極的である) ⇒Q1-4へ(裏面)

Q1-2 ユニバーサルツーリズムに関する取組について、項目ごとに、あてはまるものをすべてお選びください。

① 移動・通行に関する配慮

- 車いすや杖の貸出し
- 車いす用可動式スロープの用意
- 車いす利用者が使いやすい席の確保
- 通行のためのベッド・椅子などの配置移動
- ノンステップ車両の導入
- スタッフによる段差サポート
- その他 ⇒具体的に：

- 移動・通行に関しては特に行っていない

② 入浴・宿泊に関する配慮

- 浴室用シャワーチェアや手すりなどの貸出し
- ベビーベッドやベッドガード、ベビーバスの貸出し
- マタニティ用パジャマの貸出し
- 字幕表示可能なリモコンの貸出し
- その他 ⇒具体的に：

- 入浴・宿泊に関しては特に行っていない

③ 情報提供・コミュニケーションに関する配慮

- 筆談対応
- 来客や非常時などの情報を振動や光で知らせる装置の設置(聴覚障がい向け)
- スタッフ同行案内による備品説明(視覚障がい向け)
- 点字案内物の用意
- メニューの読み上げ
- 配膳時に「クロックポジション」を用いる、皿に手を導くなどの配置説明(視覚障がい向け)
- その他 ⇒具体的に：

- 情報提供・コミュニケーションに関しては特に行っていない

④ 子連れ・乳幼児・妊婦に関する配慮

- ベビー用品(おむつ・哺乳瓶等)の貸出し
- 子どもの一時保育施設の設置
- 施設内キッズルームの設置
- 離乳食メニューへの対応
- 紙おむつの廃棄対応
- ノンカフェイン飲料などマタニティ対応
- その他 ⇒具体的に：

- 子連れ・乳幼児・妊婦に関しては特に行っていない

⑤ 食事に関する配慮

- 刻み食やとろみ食などの調理アレンジ対応
- 食物アレルギーへの対応
- その他 ⇒具体的に：

- 食事に関しては特に行っていない

⑥ LGBTQなど性的マイノリティ層の受入に関する取組を行っていますか？

- はい ⇒具体的に：
- いいえ

⑦ これまでの質問の項目以外で行っている取組があれば教えてください。

例) 補助犬への対応 など

Q1-3 ユニバーサルツーリズムに取り組むことで実感した効果・メリットについて、あてはまるものを全てお選びください。今取組を行う予定の方は、得られるであろうと思う効果をお選びください。

- 高齢者や障がい者等の利用者数の増加
- リピーターの増加
- 利用者満足度の向上
- 客単価の上昇
- 従業員のホスピタリティの向上
- 事業者（施設）イメージの向上
- メリットを感じない

⇒続いて、Q2-1 へお進みください。

Q1-4 【Q1-1で〔4〕〔5〕を選択した方へお聞きします】ユニバーサルツーリズムに関する取組みを実施していない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

- 知識やノウハウの不足
- バリアフリー対応に関する従業員の意識が低い
- 受入体制を整えるための予算・事業費の確保が困難
- 現状、高齢者や障害者等の利用率が低い
- マーケットの規模が小さく取組みの必要性を感じていない
- 単価が低い
- その他 ⇒具体的に：

⇒続いて、Q2-1 へお進みください。

2. 行政の取り組みなどの認知度

Q2-1 観光庁が認定する「観光施設における心のバリアフリー認定制度」をご存じですか？（1 つだけ☑）

- 知っていた
- 知らなかった

Q2-2 観光庁が認定する「観光施設における心のバリアフリー認定制度」を今後取得したいと思いますか？（1 つだけ☑） ※宿泊施設、飲食店、観光案内所、博物館（博物館法 31 条で指定されたもの）のみ対象。対象外の施設は「対象施設ではない」を選択ください。

- 既に取得している
- 取得予定（本年度中）
- 取得希望有 ⇒本年度取得しない理由・課題：
- 取得希望なし ⇒希望しない理由：
- わからない
- 対象施設ではない

Q2-3 沖縄県が運営するユニバーサルツーリズムポータルサイト「ユニバーサルツーリズム OKINAWA」をご存じですか？（1 つだけ☑）

- アクセスしたことがある ⇒見に行った内容：
- 知っているが見たことはない ⇒どんな情報があれば見たいか：
- 知らなかった

3. 現状の課題

Q3-1 ユニバーサルツーリズムに取り組むにあたっての課題について、あてはまるものをすべてお選びください。

- 従業員の負担が増加する
- そもそも人材不足
- 予算・事業費の確保が困難
- 知識やノウハウ不足により、何をすべきかわからない
- マーケットの規模が小さく取組の必要性を感じない
- 単価が低くマーケットとしての将来性を感じない
- その他 ⇒具体的に：

Q3-2 多種多様なニーズに応じた受入環境の整備や取組について、具体的に困った経験があれば教えてください。

Q3-3 ユニバーサルツーリズム推進する上で、行政や県などに期待する支援内容について、あてはまるものをすべてお選びください。

- 施設改修等の補助金
- 研修・人材育成支援
- 情報発信（県によるまとめサイト等）
- 成功事例の共有
- 制度や認定の案内
- その他 ⇒具体的に：

4. 観光関連事業者向けセミナーやアドバイザー派遣について

Q4-1 沖縄県がユニバーサルツーリズムを推進するために開催している観光関連事業者向けセミナーや、専門アドバイザーの派遣を行っていることをご存知ですか？（1 つだけ☑）

- 知っていた
- 知らなかった

Q4-2 ユニバーサルツーリズムに関するどのような内容のセミナー、アドバイザー派遣だったら受けてみたいですか？

アンケートは以上です。お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。